



刊行図書のご案内

公益財団法人 大阪府文化財センター調査報告書 第225集

旧大阪府庁舎跡

(仮称) 阿波座駅前プロジェクトに伴う旧大阪府庁舎跡発掘調査



調査地全景(南から)



暖炉

価 格：1,028 円 (税込)

送 料：宅急便 ※地域別料金

刊行日：2012 年 7 月

判 型：A4

頁 数：本文 166 頁、巻頭カラー図版 16 頁、写真図版 86 頁

重 量：1,170g

大阪市西区江之子島所在の2代目大阪府庁舎跡の調査報告書。

調査では、明治5年起工、同7年竣工の中央棟の「石灰コンクリート」と切石による基礎、間知石による排水暗渠や、大正3年起工、同5年竣工の北・南翼のコンクリート基礎、煉瓦造の壁体、間仕切り壁、暖炉等を検出しました。

出土品には、明治新築時使用の煉瓦(「阪府 授産所」・「HANFU JUSANSIO」・「YEGAWA」銘)、大正増改築時使用の煉瓦(岸和田煉瓦、大阪窯業、堺煉瓦、日本煉瓦等)、大正増築棟暖炉使用の耐火煉瓦(「MARUSAN」・「BIZEN-INBE」・「Mitsuishi」銘等)、明治・大正期の土管、大正～昭和戦前のタイル(淡陶・名古屋製陶・佐藤化粧耐火煉瓦工場等)、大正期のモルタル製柱頭飾り等、旧府庁舎の建築材料類を初め、最終的に昭和戦前に工業奨励館として使用された際の実験道具類等があります。

今回の調査により、明治初期の本格的洋風建築および、大正初期の増築棟の基礎構造を明らかにできたことは、出土品も併せ、近現代考古学のみならず、近代建築史にも寄与するところ大です。